

令和3年7月16日

## 大阪府立大学との産学連携研究支援事業 支援対象研究決定！

当会と公立大学法人大阪 大阪府立大学は、『食・農・環境』をキーワードに、地域社会における学術・研究・人材育成等の分野において、人的・知的資源の交流・活性化の促進を目的に産学官連携基本協定を締結しております。

本協定に基づき、当会は「産学連携研究支援事業」として大阪府立大学の在籍教員が行う研究に対し、研究費の支援をしております。

今般、産学連携協議会において、以下の3つの研究に対する支援を決定いたしました。

引き続き、研究への連携強化や研究成果に関する情報発信等に取り組み、大阪都市農業のさらなる発展及び豊かな地域社会の実現を目指してまいります。

＜支援対象研究＞

研究者名	塩崎 修志
所属・役職	大阪府立大学 生命環境科学研究科 准教授
研究テーマ	<p><b>野生ブドウを活用した「大阪ワイン」ブランド用ブドウ新品種の選抜と機能性成分強化方法の確立</b></p> <p>(内容)</p> <p>本研究は、高い機能性成分を豊富に含む野生ブドウとワイン用品種の交配種から、大阪におけるワイン作りに適した新品種を選抜し、初の大阪産まれの新品種を用いたワインの醸造及びその普及を目指すものです。</p>
支援開始時期	平成29年度

研究者名	内海 ゆづ子
所属・役職	大阪府立大学 工学研究科 講師
研究テーマ	<p><b>大阪ブドウの継続的な栽培に向けた作業支援システムの開発</b></p> <p>(内容)</p> <p>本研究は、栽培経験のない人でも作業を行えるよう、画像処理技術を用いてブドウの房の数や位置を自動的に認識する栽培作業補助システムを開発し、担い手不足の解消を通じて、大阪でのブドウ栽培の継続を目指すものです。</p>
支援開始時期	令和元年度

研究者名	甲斐 建次
所属・役職	大阪府立大学 生命環境科学研究科 准教授
研究テーマ	<p><b>病原カスITCHの攪乱によるナス青枯病の予防・治療法の開発</b></p> <p>(内容)</p> <p>本研究は、ナス科植物に急激な萎凋・枯死を引き起こす青枯病の予防・治療法の開発を目指し、青枯病菌クオラムセンシング阻害剤について研究するものです。</p>
支援開始時期	令和3年度